

事務事業名		海区漁業調整委員会委員選挙の執行				☐ 実施計画登載事業		☐ 合併建設計画登載事業				
政策体系	政策名	08 自立した行政経営の確立				事業期間		予算科目				
	施策名	34 効率的で質の高い行政運営の推進						会計	款	項	目	事業
	基本事業名	01 成果重視の行政運営の推進				☒ 単年度のみ ☐ 単年度繰返 (開始 年度 ~) ☐ 期間限定複数年度 (計画期間) 年度 ~ 年度 全体計画欄の総投入量を記入		01	02	04	05	00
根拠法令		公職選挙法										
所属	部課名	選挙管理委員会事務局										
	係名		電話	0192-27-3111								
			内線	192								
事務事業の概要 (具体的なやり方、手順、詳細。期間限定複数年度事業は全体像を記述)								全体計画 (期間限定複数年度のみ)				
岩手海区漁業調整委員会委員選挙の執行。 選挙準備、投票、開票等に係る業務を行なう。 主な内容は以下のとおり ・選挙期日に基づく業務スケジュールの策定 ・選挙管理委員会臨時会を開催し、法令に基づく選挙事項に係る事項の決定 ・地区担当者説明会、併任書記・投票所庶務担当者・開票担当者の打合せ会開催 ・入場券・選挙公報の配布 ・期日前・不在者投票事務 ・当日の投・開票、開票結果の報告 事業費は、職員の時間外手当、消耗品費等に支出される。								総投入量 (千円)	事業費	財源内訳	国庫支出金	
											都道府県支出金	
											地方債	
											その他	
											一般財源	
											事業費計 (A)	0
人件費	正規職員従事人数											
	延べ業務時間											
	人件費計 (B)	0										
								トータルコスト(A) + (B)		0		

1 現状把握の部 (DO)

(1) 事務事業の目的と指標		活動指標 (事務事業の活動量を表す指標)	
手段 (主な活動)		名称	
前年度実績 (前年度に行った主な活動)		単位	
投票所庶務担当者・開票担当者の打合せ会、期日前投票事務、投・開票準備、当日の投・開票、開票結果の報告		ア	説明会開催回数
今年度計画 (今年度に計画している主な活動)		イ	選挙管理委員会開催件数
20年度で完了		ウ	
対象 (誰、何を対象にしているのか) * 人や自然資源等		対象指標 (対象の大きさを表す指標)	
海区漁業調整委員立候補者		名称	
市民(有権者) (選挙当日)		単位	
意図 (この事業によって、対象をどう変えるのか)		カ	海区漁業調整委員立候補者数
正確な手続きで迅速に選挙が執行される。		キ	有権者数
公明公正な選挙として有権者の納得を得る。		ク	
結果 (基本事業の意図: 上位の基本事業にどのように貢献するのか)		成果指標 (対象における意図の達成度を表す指標)	
計画的に質の高い行政運営がなされている。		名称	
		単位	
		サ	正確さを欠いた事務手続き数
		シ	開票所要時間
		ス	

(2) 総事業費・指標等の推移		単位	年度	17年度 (実績)	18年度 (実績)	19年度 (実績)	20年度 (実績)	21年度 (目標)	22年度 (目標)
投入量	事業費	国庫支出金	千円						
		都道府県支出金	千円				4,503		
		地方債	千円						
		その他	千円						
		一般財源	千円				3		
	事業費計 (A)		千円	0	0	0	4,506	0	0
	人件費	正規職員従事人数	人				3		
		延べ業務時間	時間				500		
		人件費計 (B)	千円	0	0	0	2,000	0	0
	トータルコスト(A) + (B)		千円	0	0	0	6,506	0	0
活動指標	ア		回	-	-	-	3	-	-
	イ		回	-	-	-	3	-	-
	ウ								
対象指標	カ		人	-	-	-	10	-	-
	キ		人	-	-	-	2,283	-	-
	ク		人	-	-	-			
成果指標	サ		件	-	-	-	1	-	-
	シ		時間	-	-	-	0:50	-	-
	ス								

事務事業ID	1324	事務事業名	海区漁業調整委員会委員選挙の執行
--------	------	-------	------------------

(3) 事務事業の環境変化・住民意見等

この事務事業を開始したきっかけは何か？いつ頃どんな経緯で開始されたのか？

県政施行による。

事務事業を取り巻く状況(対象者や根拠法令等)は、開始時期あるいは後期基本計画策定時と比べてどう変わったのか？

平成20年7月31日に選挙が執行され、当市の投票率は68.99%であった。
期日前投票の実施、不在者投票の整備等、有権者にとっての投票環境は、他の選挙と同様に整備されてきている。

この事務事業に対して関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が寄せられているか？

市内の漁協の正組合員になっている者でも、選挙人名簿に登録されていない者があるとの指摘が有権者からあり、選挙人名簿登録の周知徹底を要望された。

2 評価の部(SEE) * 原則は事後評価、ただし複数年度事業は途中評価

目的 妥当性 評価	政策体系との整合性	☐ 見直し余地がある [理由] 3 改革・改善方向の部 (3枚目シート)に反映 ☒ 結びついている [理由] この事務事業の目的は当市の政策体系に結びつくか？意図することが結果に結びついているか？ 適切な選挙の実施が、漁業調整委員会における適切な漁業施策の執行と結びついている。
	公共関与の妥当性	☐ 見直し余地がある [理由] 3 改革・改善方向の部 (3枚目シート)に反映 ☒ 妥当である [理由] なぜこの事業を当市が行わなければならないのか？税金を投入して、達成する目的か？ 漁業法に基づく選挙であり、妥当である。
	対象・意図の妥当性	☐ 見直し余地がある [理由] 3 改革・改善方向の部 (3枚目シート)に反映 ☒ 適切である [理由] 対象を限定・追加すべきか？意図を限定・拡充すべきか？ 漁業法に基づく選挙であり、適切である。
有効性 評価	成果の向上余地	☒ 向上余地がある [理由] 3 改革・改善方向の部 (3枚目シート)に反映 ☐ 向上余地がない [理由] 成果を向上させる余地はあるか？成果の現状水準とあるべき水準との差異はないか？何が原因で成果向上が期待できないのか？ 選挙人名簿登録の周知・徹底、開票事務の時間短縮の取組みをさらに検討していく必要がある。
	廃止・休止の成果への影響	☐ 影響無 [理由] 3 改革・改善方向の部 (3枚目シート)に反映 ☒ 影響有 [その内容] 事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は？ 漁業法に基づく選挙であり、廃止、休止はできない。
	類似事業との統廃合・連携の可能性	☐ 他に手段がある (具体的な手段, 事務事業) ☐ 統廃合・連携ができる [理由] 3 改革・改善方向の部 (3枚目シート)に反映 ☐ 統廃合・連携ができない [理由] 目的を達成するには、この事務事業以外他に方法はないか？類似事業との統廃合ができるか？類似事業との連携を図ることにより、成果の向上が期待できるか？ 類似事業はない。 ☒ 他に手段がない [理由]
効率性 評価	事業費の削減余地	☒ 削減余地がある [理由] 3 改革・改善方向の部 (3枚目シート)に反映 ☐ 削減余地がない [理由] 成果を下げずに事業費を削減できないか？(仕様や工法の適正化、住民の協力など) 期日前投票、当日の投票とも投票所の適正な人員配置の見直し。
	人件費(延べ業務時間)の削減余地	☒ 削減余地がある [理由] 3 改革・改善方向の部 (3枚目シート)に反映 ☐ 削減余地がない [理由] やり方を工夫して延べ業務時間を削減できないか？成果を下げずにより正職員以外の職員や委託でできないか？(アウトソーシングなど) 同上。
公平性 評価	受益機会・費用負担の適正化余地	☐ 見直し余地がある [理由] 3 改革・改善方向の部 (3枚目シート)に反映 ☒ 公平・公正である [理由] 事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか？受益者負担が公平・公正になっているか？ 漁業法に基づく選挙であり、公平、公正に執行できている。

事務事業ID	1324	事務事業名	海区漁業調整委員会委員選挙の執行
--------	------	-------	------------------

3 評価結果の総括と今後の方向性(次年度計画と予算への反映)(PLAN)

(1) 1次評価者としての評価結果 (2枚目と整合を図ること) <table border="1"> <tr> <td>目的妥当性</td> <td>☒ 適切</td> <td>☐ 見直し余地あり</td> </tr> <tr> <td>有効性</td> <td>☐ 適切</td> <td>☒ 見直し余地あり</td> </tr> <tr> <td>効率性</td> <td>☐ 適切</td> <td>☒ 見直し余地あり</td> </tr> <tr> <td>公平性</td> <td>☒ 適切</td> <td>☐ 見直し余地あり</td> </tr> </table>		目的妥当性	☒ 適切	☐ 見直し余地あり	有効性	☐ 適切	☒ 見直し余地あり	効率性	☐ 適切	☒ 見直し余地あり	公平性	☒ 適切	☐ 見直し余地あり	(2) 全体総括(振り返り、反省点) 平成20年度に執行された岩手海区漁業調整委員会委員選挙は、平成8年以来の投票となったため、細部まで打合せによる協議ができなかったが、概ね計画どおりの業務執行を遂行することができた。今後、投・開票事務の効率化をさらに検討していく必要がある。									
目的妥当性	☒ 適切	☐ 見直し余地あり																					
有効性	☐ 適切	☒ 見直し余地あり																					
効率性	☐ 適切	☒ 見直し余地あり																					
公平性	☒ 適切	☐ 見直し余地あり																					
(3) 次年度の方向性(改革改善案)・・・複数選択可 (ただし、廃止・休止・現状維持は重複不可) ☐ 廃止 ☐ 休止 ☐ 目的再設定 ☐ 事業統合・連携 ☐ 現状維持 事業のやり方改善 (☒ 有効性改善 ☒ 効率性改善 ☐ 公平性改善) (上記方向性に対する具体的な内容) 投・開票における適正な人員配置と効率的な業務執行について検討する。		(4) 改革・改善による期待成果 左記(3)の改革改善案を実施した場合に期待できる成果について該当欄に「●」を記入する。 (廃止・休止の場合は記入不要) <table border="1"> <tr> <th colspan="2" rowspan="2"></th> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> <tr> <td rowspan="3">成果</td> <td>向上</td> <td></td> <td>●</td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td></td> <td>×</td> </tr> <tr> <td>低下</td> <td></td> <td>×</td> <td>×</td> </tr> </table>			コスト			削減	維持	増加	成果	向上		●		維持			×	低下		×	×
		コスト																					
		削減	維持	増加																			
成果	向上		●																				
	維持			×																			
	低下		×	×																			
(5) 改革改善を実現する上で解決すべき課題とその解決策又は特記事項等 事務担当者の説明会、打合せ会において、有権者数、投票状況等を予測した、細部までの念入りな打合せが必要である。																							

(職名)	原則として施策の主管課長	(氏名)
2次評価者	選挙管理委員会事務局長	

4 事務事業の2次評価結果

(1) 1次評価結果の客観性と出来具合 記述水準(1次評価の記述内容を読んだ段階で選択) ☐ 記述不足でわかりにくい ☐ 一部記述不足のところがある ☒ 記述は十分なされている 評価の客観性水準(2次評価を行った後に総合的に判断して選択) ☐ 客観性を欠いており評価が偏っている(事務事業の問題点、課題が認識されてない) ☐ 一部に客観性を欠いたところがある ☒ 客観的な評価となっている(事務事業の問題点、課題が認識されている)		(2) 2次評価者としての評価結果 <table border="1"> <tr> <td>目的妥当性</td> <td>☒ 適切</td> <td>☐ 見直し余地あり</td> </tr> <tr> <td>有効性</td> <td>☐ 適切</td> <td>☒ 見直し余地あり</td> </tr> <tr> <td>効率性</td> <td>☐ 適切</td> <td>☒ 見直し余地あり</td> </tr> <tr> <td>公平性</td> <td>☒ 適切</td> <td>☐ 見直し余地あり</td> </tr> </table>	目的妥当性	☒ 適切	☐ 見直し余地あり	有効性	☐ 適切	☒ 見直し余地あり	効率性	☐ 適切	☒ 見直し余地あり	公平性	☒ 適切	☐ 見直し余地あり	(3) 評価結果の根拠と理由 平成8年度以来の選挙の執行となったが、概ね計画どおりの業務執行ができた。今後においてもさらに、投・開票事務の効率化を推進する必要がある。									
目的妥当性	☒ 適切	☐ 見直し余地あり																						
有効性	☐ 適切	☒ 見直し余地あり																						
効率性	☐ 適切	☒ 見直し余地あり																						
公平性	☒ 適切	☐ 見直し余地あり																						
(4) 次年度の方向性(改革改善案)・・・複数選択可 (ただし、廃止・休止・現状維持は重複不可) ☐ 廃止 ☐ 休止 ☐ 目的再設定 ☐ 事業統合・連携 ☐ 現状維持 事業のやり方改善 (☒ 有効性改善 ☒ 効率性改善 ☐ 公平性改善) (上記方向性に対する具体的な内容) 電算導入により、投・開票事務の効率化を推進し、人員の削減や開票時間の短縮化等を推進する必要がある。また、農業委員会選挙と同様に、選挙の執行がされる場合とされない場合があるので、適切な対応ができるよう、常日頃からしっかり心構えを持つ必要がある。		(5) 改革・改善による期待成果 左記(4)により期待できる成果について該当欄に「●」を記入する。また、1次評価と内容が異なる場合には、1次評価の結果も「○」で記入する。 (廃止・休止の場合は記入不要) <table border="1"> <tr> <th colspan="2" rowspan="2"></th> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> <tr> <td rowspan="3">成果</td> <td>向上</td> <td></td> <td>●</td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td></td> <td>×</td> </tr> <tr> <td>低下</td> <td></td> <td>×</td> <td>×</td> </tr> </table>				コスト			削減	維持	増加	成果	向上		●		維持			×	低下		×	×
		コスト																						
		削減	維持	増加																				
成果	向上		●																					
	維持			×																				
	低下		×	×																				

5 最終評価結果

(1) 行政経営推進会議等での指摘事項
